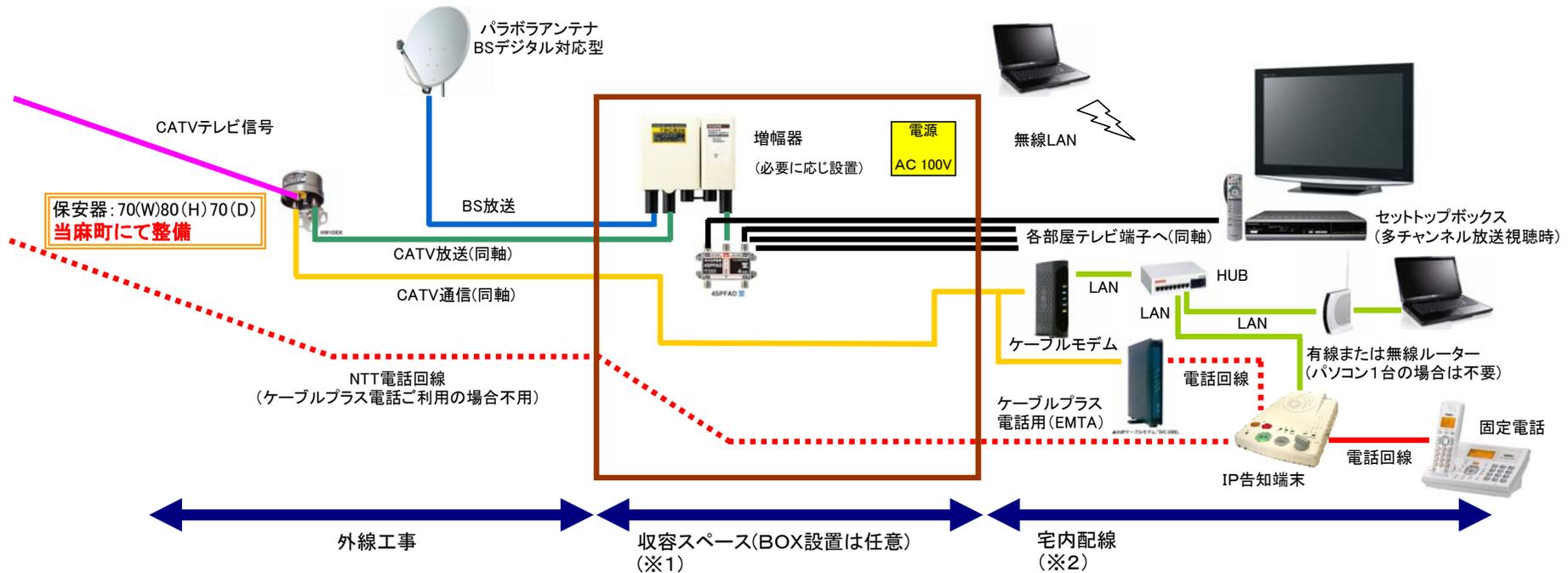


新築・増改築一戸建て住宅設計・施工について 工事イメージモデル例(A)

モデル例: 全室テレビ同軸配線、1室のみへのLAN配線を施した場合



増幅器: 93(W)137(H)49(D) : AC100V必要 施主様にて整備
ケーブルモデム: 34.5(W)152.0(H)132.0(D) : AC100V必要 当麻町にて整備
EMTA: 30.0(W)184.0(H)159.0(D) : AC100V必要 契約により「ポテト」にて整備
HUB: 120(W)30(H)80(D) : AC100V必要 当麻町にて整備 (IP告知端末・パソコンラインの分配用)
IP告知端末: 180(W)70(H)250(D) : AC100V必要 当麻町にて整備
ルーター: AC100V必要 施主様にて整備 分配機 施主様にて整備

※1 メンテナンス性を考慮しクローゼット内などに設置。屋根裏等には設置しないでください。また、收容BOX設置の場合、機器設置サイズ等を考慮した大きさのものを選定してください。

※2 固定電話・IP告知端末を設置する場所の近くに、ケーブルモデム・EMTA・HUB・ルーターを一カ所に集約設置すると美観的にも、メンテナンス的にも望ましい通信環境となります。

■配線・配管について

同軸ケーブルおよびLANケーブルの敷設は施主様にて整備していただきますが、LANケーブル(1000BASE対応)については管を敷設し配線することをおすすめします。また、保安器からケーブルモデムへと引き込む通信専用の同軸ケーブル敷設には、管を敷設し宅内へ入線してください。さらに、ケーブルモデムおよびEMTAからIP告知端末までは管を敷設し、その中に電話用モジュラー線、LANケーブルを通しておいてください。

■設計前にご相談を

ケーブル情報通信に対応する最適な住宅環境とするため、新築・増改築の設計前に必ず、建築業者、旭川ケーブルテレビ「ポテト」へご相談されることをおすすめします。

固定電話については、施主様がNTT回線または旭川ケーブルテレビ回線(KDDI)のいずれかを使用するかによって、配線敷設等の方法が異なります。